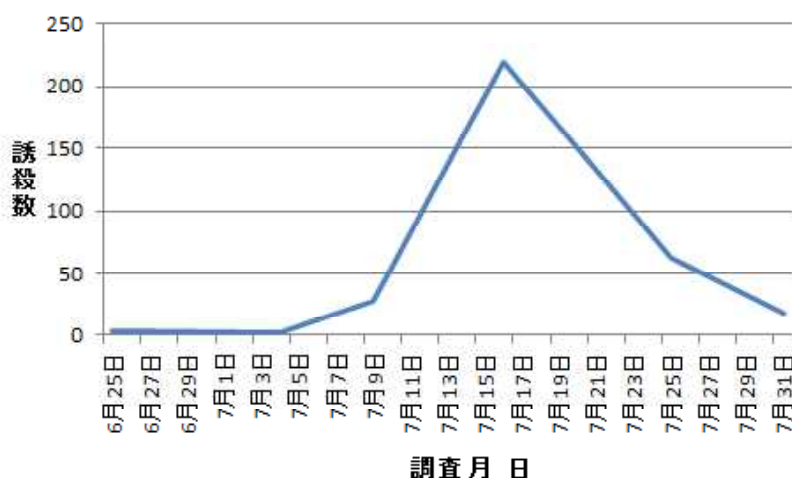


# カキのフジコナカイガラムシの第2世代防除適期の予測 (2013年出雲市)

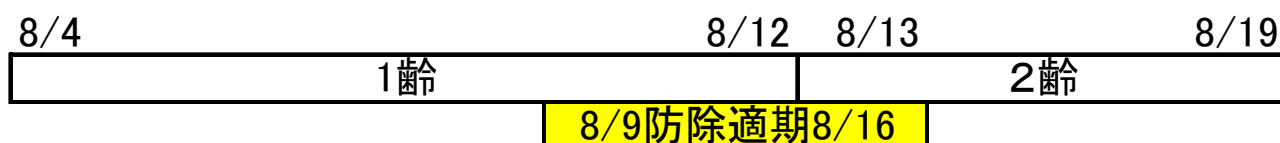
予想される防除適期：8月9日～8月16日（8月2日計算）

島根県病害虫防除所

予測の根拠：出雲市東福町のカキ園に4月6日から性フェロモントラップを設置し、フジコナカイガラムシの越冬世代雄成虫を調査した。その結果、本年の第1世代雄成虫の誘殺数の上昇は7月16日に認められた。



誘殺ピークの7月16日を起点とし平均気温（8月1日までは2013年の気温、それ以後は平年値）を用いて次世代（第2世代）の発生時期を予測すると、1齢期が8月4日～12日、2齢期が8月13日～19日となり、防除適期は8月9日～8月16日と推定された。



参考：フジコナカイガラムシは年3世代発生するとされています。近年、フジコナカイガラムシの性フェロモンが明らかになり、圃場における発生状況をより正確に把握できるようになりました。そこで、性フェロモントラップデータとフジコナカイガラムシの発育データを使って第2世代幼虫発生期を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示しました。今後も雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定です。なお、この予測は一部山間地では1週間以上遅くなりますのでご注意ください。